



新モンゴル小中高一貫学校近況報告

新モンゴル小中高一貫学校はウランバートルにあり、日本式教育モデルを採用しています。カリキュラムだけでなく給食、上履き、挨拶、部活動といった私たちには馴染み深い文化も取り入れています。本校は同校と学術提携校として交流を続けていて、これまで隔年ごとに15名程度の生徒諸君が現地を訪ねてきました。以前グローバル通信80号及び81号でご紹介した同校のミシェール君が本校に短期留学の折は数学科川崎先生の当時高校2年生のクラスで生徒諸君と交流を深めました。ミシェール君は数学の分野に秀でており、数学オリンピックで大活躍しました。ミシェール君の同校卒業後の進路が決まったとのことで、川崎先生とミシェール君本人にご寄稿いただきました。

一昨年度の本校への留学生 O.ミシェール君（新モンゴル高校）、MITへ進学！

グローバル教育部・数学科 川崎 真澄

本校の学術提携校であるモンゴル国ウランバートル市にある新モンゴル高校（ズラゲレル校長）より、一昨年度、本校へ2週間の留学を果たした O.ミシェール君が、米国随一の理科系大学であるマサチューセッツ工科大学（MIT）進学が決まった、との報がもたらされました。これは、本校 HP で既報（昨年9月28日）である同君の国際数学オリンピック（IMO）の金メダル受賞に続く快挙と申せましょう。ミシェール君は、当時の5年8組に留学し、本校生との勉強や研究、そして歓談を楽しみ、また数学部での密接な交流に加え、クラスメート宅でのホームステイにて日モの文化交流に勤しみました。殊に、来日したら必ず行きたかったというスクウェア・エニックスのアルトニアへの訪問や、ホームステイ先から招待された秩父の温泉への訪問や将棋の妙味を堪能。そしてクラスメートとのフェアウェルパーティーは一層印象深いとのことでした。

私（川崎）とは、数学を通して交流（彼は第1回の松岡文太郎賞（海城数学科賞）の受賞者でもあります）。複素解析学とその周辺に興味があるとのことで、数学の世紀と呼ばれる19世紀の数学者にあって、今もって威光を放ち続ける F.Klein の著作を贈呈した際、目を輝かせて早速丹念に勉強し始めた姿が思い出されます。

この度、MIT への留学を前に、ミシェール君から、IMO で授与された金メダルの写真と、MIT での自身の希望、そして海城の印象を送ってもらいました。

新モンゴル高校の、数ある提携校の中から、本校を留学先選ばれた彼が、世界に冠たる活躍を見せてくれるのは誠に嬉しいことです。そして本校の皆さんにも大いに刺激になることでありましょう。皆さん、どうぞご一読ください。



IMO のゴールドメダリストの O.ミシェール君

Hello.

About MIT, my biggest hope is to learn interesting things with great people.

I think I'll major in pure mathematics, but I hope to also double major in another thing like physics or computer science. With the community so focused towards collaboration and teamwork (I heard it's mainly because their courses are super hard they almost don't stand a chance if they don't work together) I think it'll be easier to make friends and connect to people there.

Also, through their undergraduate research opportunities (UROP) I hope to get some early experience in research math as well.

Kaijo was amazing. The families I home-stayed with were awesome and fun. I especially remember how great the food was 😊. I was introduced to shogi, which was really interesting because the tide could be turned in just a few moves. The math club students were friendly and they were really good at some of the abstract and practical parts of math. I will do my best to catch up to them soon though, especially with college application season over.

I've also just began studying complex analysis, Cauchy residue theorem and such, and with my prior exposure from Doctor Kawasaki's work, it is tremendously more interesting (unfortunately, I still haven't advanced the book he gave me much, I'm still laying the groundwork math).

Overall, although quite short, I feel like it is one of the most experiences I had in my life.

Best, Misheel.

GEC(Global Enterprise Challenge) 事前学習会開催

グローバル通信93号でご紹介した Global Enterprise Challenge (GEC)に高校2年生8名が応募し、3月14日(日)に事前学習会が開催されました。GECは与えられた課題に対する事業計画をチームで策定し、A4用紙2枚で英文によるビジネスプランを作成し、英語による3分間のビデオプレゼンテーションの提出が求められます。練習会ではコロナ禍における社会人のテレワークや学生のオンライン授業をより効果的に推進するためのプラン作成という課題が課されました。この事前学習での疑似体験を経て3月28日(日)によいよ国内予選に向かうこととなります。2021年は全国から80チーム(525人)がエントリーしています。



↑ 校内での活動ができないため自分たちで貸会議室を手配して事前学習会に臨みました。

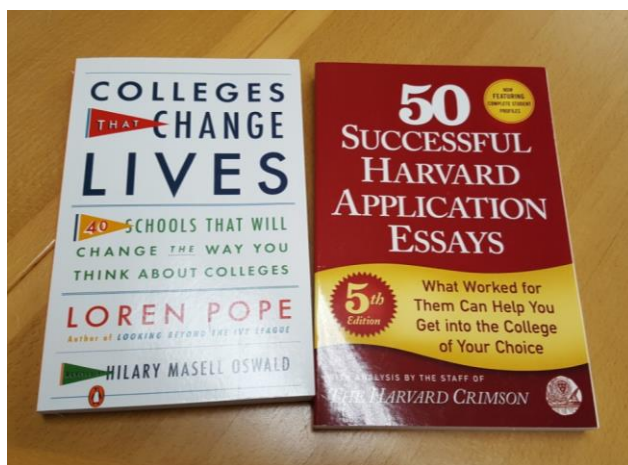
国内予選の状況は新年度の通信でお知らせしたいと思います。

Harvard Prize Book 授与される

Harvard Prize Book (HPB) とはアメリカのハーバード大学同窓会が後期中等教育提供校在学する高校2年生に授与するもので、世界中に約1900校の学校が参加しています。本校では今回で3回目の授与となり、高校2年4組の池田隼君が受賞しました。池田君には賞状と英文図書2点が授与されました。本来であれば終業式で授与されるものですが、放送による実施となりましたので一足先に撮影した写真を以下に掲載します。来年度以降も優秀な生徒諸君が後に続くことを期待しております。



高校2年 池田 隼 君



Prize Book として授与された図書

1年間ご愛読ありがとうございました

本号が今年度最後の発行となります。コロナ禍で自由な移動が制限される中で提供できる情報にも自ずと限りが出てしまいました。そんな中でもプログラミング講座や GEC など自らの意思でやってみようという意思表示をしてくれた生徒諸君がいたということは、このささやかな原稿を作る者にとってはうれしいことでした。油断できない感染状況がもうしばらく続きそうですが、4月以降も生徒諸君の興味を刺激するような情報提供を心掛けていきたいと思えます。引き続きご愛読のほど、どうかよろしくお願い致します。充実した春休みをお過ごし下さい。